

社会で活躍する障害学生支援プラットフォーム形成事業

平成29年度予算額 45,000千円
(22,500千円×2件(予定))

背景

- **障害のある学生数の急増**
平成18年から平成28年の間で5倍以上(約5,000人→27,000人)に増加。
- **「障害者差別解消法」の施行(平成28年4月)**
全ての大学等において障害者への不当な差別的取扱いの禁止・合理的配慮の提供が義務ないし努力義務とされた。
- **「ニッポン一億総活躍プラン」・教育再生実行会議「第九次提言」等**
閣議決定された政府提言等において障害のある学生支援の充実が求められている。
- **障害のある学生の修学支援に関する検討会(平成28年度)**
オールジャパンの取組みを促進するため、本施策が提案された。

概要

- 将来にわたり障害のある学生への支援を支えていく組織的アプローチの土台としての大学等の連携プラットフォームを形成する取組を支援。
- **＜プラットフォームでの取組内容＞**
 - ① 大学等、福祉や労働行政機関、障害当事者団体、企業等との組織的なネットワークの構築する。
 - ② 障害のある学生への支援における課題の解決に向けて、職員や研究者その他の関係者の有機的連携を先導する。
 - ③ 障害のある学生への支援の手法の開発・調査や、人材・設備・教材などの支援リソースの共有手法の研究など、これまでの支援方法を発展させる取組を行う。
 - ④ 得られた知見等の成果を集約し、全国の大学等に普及・展開を行う。

オールジャパンの取組を促進し、共通課題を克服を目指す

- ・同等条件で学べる教育環境の充実
- ・初中段階から大学等への移行(進学)を促進
- ・大学等から就労への移行(就職)を促進
- ・理解促進、情報公開、研修の充実

